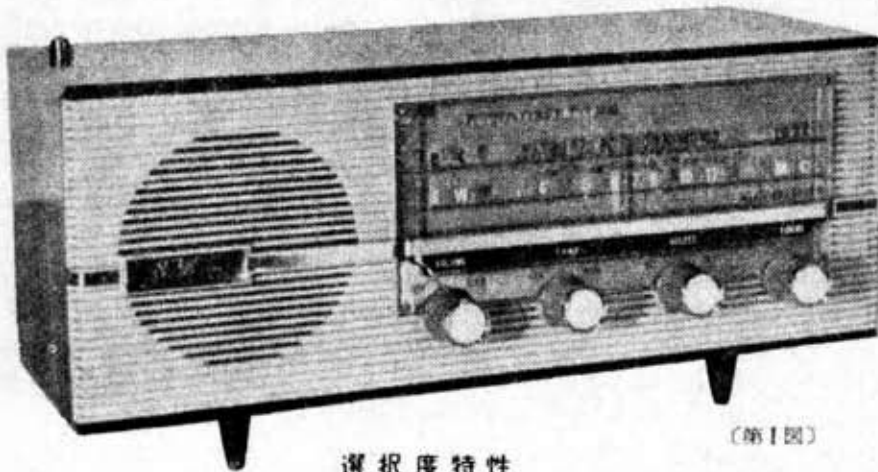
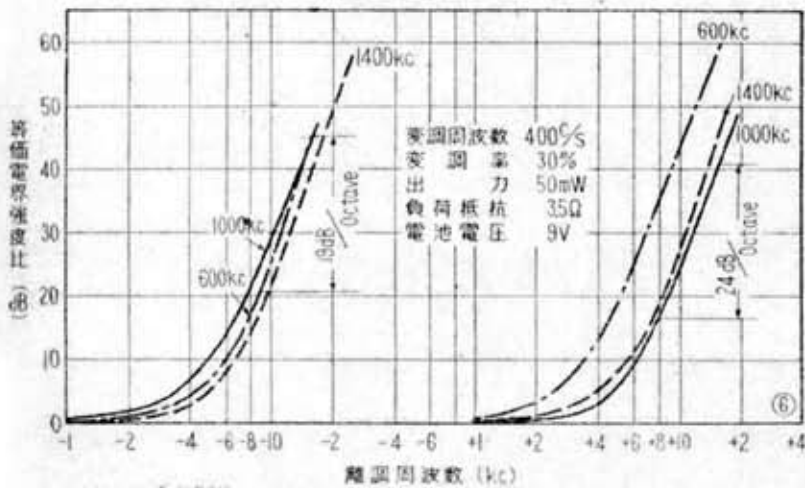


# NEC 8石 2 Band NT-8035



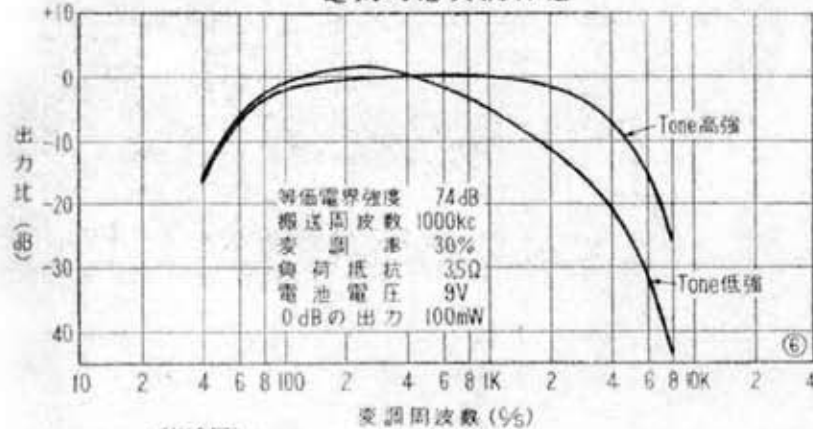
(第1図)

## 選択度特性



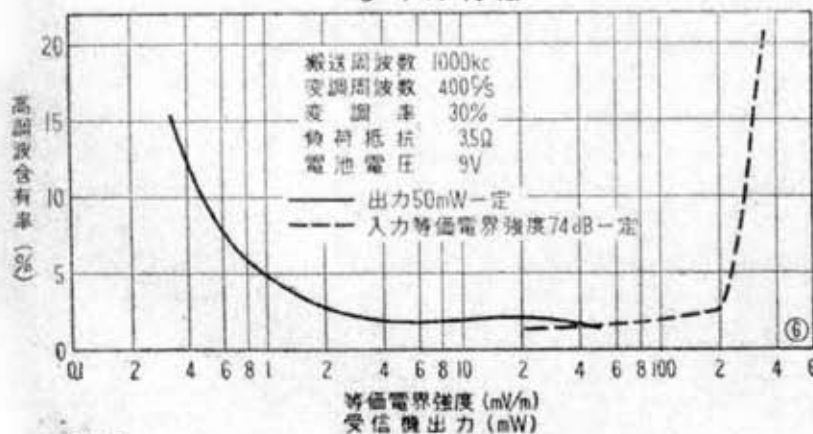
(第2図)

## 電氣的忠実度特性



(第3図)

## ひずみ特性



## 回路構成

2バンド、8石、1ダイオードの一般的なタイプであるが、短波帯は3.9Mcから12Mcとなつてゐるが、フェライトコアを用いてゐない。局部発振回路は他励を使用。

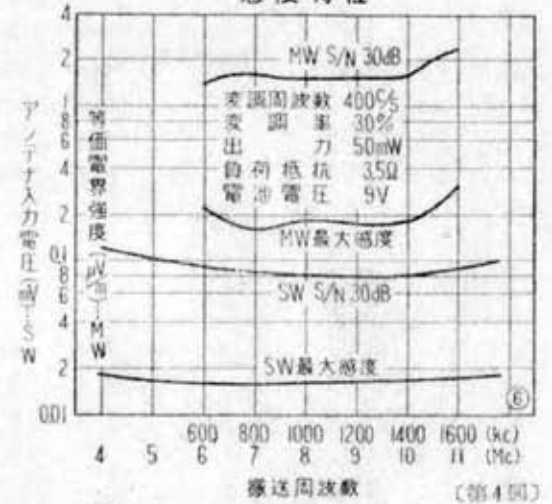
音質補償として、 $0.1\mu\text{F}$ と $V R_2$ との直列回路を採用しているのがわかる。スピーカは12cm(5インチ)の円形を使つてゐる。電源は9V。

## 測定結果をみて

感度特性は、中、短波ともふつうであるが、短波ではフェライト・コアを使つてゐないので、アンテナ入力電圧で測つてある。感度差も5.5dB以下でよいほうだ。

出力は無ひずみで275mWも出てゐて十分だし、妨害比も總体的によいが、中間周波のそれでは1600kcでは僅かにおちてゐた。

## 感度特性



(第4図)

